

社会福祉法人真正福祉会広報誌

しんせい

題字・仲地正雄会長

2021年(令和3年)
2月20日発行発行責任者
社会福祉法人真正福祉会
理事長 仲地 賢

初春号

2021.2 Vol.12

理事長巻頭言

社会福祉法人真正福祉会
理事長 仲地 賢

あけましておめでとうございます。

2021年、令和3年 丑年。新しい年になり気持ちが刷新され、あの忌まわしい新型コロナからも世の中が新たにリセットされるような気持ちになりそうですが、新型コロナは依然としてまだ収束してはいません。副作用の課題もあり、今直ちに効く有効なワクチンや抗生剤が完成したという話も、残念ながら聞こえていません。ワクチン開発では、アメリカをはじめ、イギリス、中国、ロシアも開発に乗り出しています。一刻も早く有効な副作用のないワクチンが開発されるよう祈りたいものです。

新型コロナでは、世界中の経済的打撃が甚大なため、負の面ばかりが目につきますが、長期の外出自粛により空気がきれいになったという報告が世界各

地であるようです。また、ステイホームにより、家族の絆が強くなったという報告もありますが、その逆もあるようです。

物事には表の面と裏の面がありますが、新型コロナの表の面、つまりポジティブな面は、前述した空気の浄化や家族の繋がりなどの他、リモートワークが見直されて、会議や研修のために時間や経費を節約できることが証明されました。

一方、負の面は、外出自粛による経済の落ち込みや重症患者の医療体制の危機、更に学生の中退や自殺者の増加など、数えればきりがありません。

今年は、私たち真正福祉会の創立40周年の節目の年です。感染状況次第となりますが、記念事業として、秋以降に記念誌の発行と記念式典などを予定しています。

夏のオリンピックも、どういう形で開催できるのか、やはり感染状況次第ではないでしょうか。ともあれ、人類の叡智でこの難局を乗り切る術を見出し、会得したいものです。



「新春書き初め福笑い」どリーむはうす

Contents

もくじ

法人広報誌「しんせい」12号理事長巻頭言	1ページ
特集「四十にして惑わず」	2ページ
町制施行80周年記念表彰・論語コーナー	3ページ
ドリーム保育園・美ら咲保育園	4ページ
風のわ保育園・どリーむはうす	5ページ

職員・卒園児・利用者家族リレーコラム	6ページ
わったーシマを知ろう!	
小説「あしあと」	7ページ
特別永年勤続功労者表彰	8ページ

特集 「四十にして惑わず」

巻頭言でも触れましたが、社会福祉法人真正福祉会は、今年が創立40年目になります。人間の年齢で40歳はちょうど油の乗りきった働き盛りの年齢です。論語でも40歳の人間として「こうあるべき」という章句があります。タイトルの「四十にして惑わず」は、有名な為政第二の「子曰く、吾十有五にして学に志し、三十にして立ち、四十にして惑わず、五十にして天命を知り、六十にして耳順い、七十にして心の欲する所に従って矩を踰えず」(しいわく、われじゅうゆうごにしがくにくころざし、30にしてたち、40にしてまどわらず、50にしててんめいをしり、60にしてみみしたが、い、70にしてころのほつするところにしたがってのりをこえず)からの一文です。40歳になったら生き方に迷うことがなくなるということです。

さて、当真正福祉会の創設者、仲地正雄会長は、自身が46歳でこの法人を創りました。それまで建設業などを経営してきましたが、昭和56年4月にドリーム保育園を創設して以来、40年にわたり社会福祉の道を歩んできました。その功績が認められ、昨年末の町政80周年記念式典において「福祉功労賞」が授与されました(本号3項参照)。

現在は、法人顧問として、法人及び理事長の相談役となり、介護施設「どりーむはうす」では、毎週民謡ショーで利用者を喜ばせています。

その正雄会長は、在職中か

ら、様々な地域貢献事業に取り組んできました。充実した音響機器をとり揃え地域のイベントにも提供したり、ドリーム保育園では年長児がお弁当を地域の高齢者世帯へ配達し交流を深める「世代間交流型給食サービス」を実施したり、更に地域の障害者が勤労奉仕できるネットワークを立ち上げたりしました。また、正雄会長自身も若い頃から民謡に親しみ、我流で古典からカチャーシーまでこなし、地域の祭りでは芸能部長としてもその才能を奉仕してきました。

論語に「之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。」(これをするものは、これをこのむものにしかず。これをこのむものは、これをたのしむものにしかず。：雍也篇)という章句があります。「物事を知っている人は、物事を好む人にはかなわない。更に、物事を好む人は、物事を楽しむ人にはなおかなわない」という意味です。

仕事を定年退職した人が、急速老け込んだり、場合によっては認知症になるケースがあるようです。高学歴、職種関係なく退職後も空いた時間を楽しむことのできる人は、身体的機能は低下しても認知症になることは少ないのではと、正雄会長を見ていて感じます。実際、好きな民謡やカラオケは連日楽しんでいて、元気の秘訣となっているようです。

当法人創立40周年目を迎える今年、地域の皆様に法

人各施設の事業活動を惜しみなく提供、還元させていただこうと考えております。幸い各施設には才能豊かな職員(職人?)が多く在籍していますので、コロナも収束している(と願いたい)11~12月頃に、法人創立40周年記念事業を開催する予定です。コロナの影響が薄らいでいるようであれば、記念式典のほか、記念講演、記念コンサートなどで地域に貢献できる催しを開催したいと考えています。

当法人はこれまでも、法人研修会の一環として、講演会活動を行ってきました。全国規模のラジオでお馴染みの金子耕武氏、対馬丸生存者で平和活動家の平良敬子氏、そして沖私保連顧問の玉城善徳氏等です。

本号でも度々話題になっている論語といえば、今年のNHK大河ドラマは、論語で世の中を変えた「渋沢栄一」がモデルの「青天を衝け」が放映されます。幕末から明治にかけ、埼玉の一武士だった男が論語の影響を受け、500もの企業の創業に携わり、更に600もの社会公共事業に関わった「日本の資本主義の父」と言われた男です。

3年後の2024年には、1万円札の人物が福沢諭吉から渋沢栄一に変わります。これを機に渋沢栄一に注目して調べてみてはいかがでしょうか。

祝 !! 本部町 町制施行80周年記念表彰

去った12月10日に本部町会館におきまして、本部町町制施行80周年記念式典が挙行され、当法人の仲地正雄会長が「福祉功労」を受賞されました。昭和56年に当法人のドリーム保育園を立ち上げ、平成16年に美ら咲保育園、平成21年に風のわ保育園、同年にどりーむはうすを立ち上げ、また本部町社会福祉協議会の様々な要職にも就かれました。その他にも様々な福祉サービスに携わる等、永きに渡り本部町の福祉活動に貢献された功績が認められました。誠におめでとうございます!!



論語コーナー 其の十

日本とアメリカのトップが変わりました。論語にも政治のあり方を問う章句がいくつかあります。今回の章句は孔子の政治への姿勢が感じられる章句です。

子路、政を問う。子曰く、之に先んじ、之を勞す。益を請う。曰く、倦むこと無かれ。

（しろ、まつりごとをと。しいわく、これにききんじ、これをろうす。えきをこう。いわく、うむことなかれ。）

（意訳）子路（孔子の弟子）が政治の注意点を聞いた。孔子先生は言われた。「民に率先して自分がやるべきことをやる。そして、民をいたわることだ」。子路は、もう少し教えてくださいと頼んだ。すると先生は言われた。「今言ったことをあきずに根気良く続けることだ」。

私たちのリーダーを直接選べる選挙があります。私たちが投票する選挙の一票は、「あなたを信頼し委ね、託します」の想いがこめられています。大切に一票を投じましょう。

また次回をお楽しみに！

ドリーム保育園

所在地：〒905-0228 沖縄県国頭郡本部町伊野波438-1
 代表者：園長・仲地 賢 園児数：定員80名（現員94名）
 業務内容：通常保育、延長保育、子育て支援拠点事業すばる

電話番号 0980-47-3602 F A X 0980-47-6205
 保育時間：通常保育7:30～18:30 延長保育18:30～19:30



心地よい風が吹き、天候に恵まれた11月20日、4歳児クラスのそら組が浦崎さんのご協力のもと、芋掘り体験を行いました。「大きいお芋取ってくる！」と意気揚々と出発した子どもたち。説明をしっかりと聞いて、いざ芋掘りを始めると、掘れば掘るほど出てくるさつまいもに大興奮。「どっちが大きいの掘れるか勝負しよう」と大物を狙って子ども達同士で勝負を始め、大盛り上がりでした。汗を流しな

がら一生懸命に掘り進め、たくさんのさつまいもを収穫することが出来ました。

園に帰ってふかし芋にして食べると、美味しさに大満足。とてもいい体験、思い出になりました。ご協力ありがとうございました。



美ら咲保育園

所在地：〒905-0211 沖縄県国頭郡本部町東151-2 電話番号 0980-47-7615 F A X 0980-47-7616
 代表者：園長・富銘 巧 園児数：定員60名（現員67名）
 業務内容：通常保育、延長保育 保育時間：通常保育7:30～18:30 延長保育18:30～19:30



「うにむーちーづくり」

12月8日にうにむーちー作りを行いました。今年はコロナウイルス感染対策として食べるもちは厨房の先生にお願いをし、子どもたちは小麦粉粘土を代用して行いました。もち粉も少し加えたので感触はムーチーそっくりで、子

どもたちは伸ばしてみたり、ちぎってみたりして感触を楽しんでいましたよ。厨房の先生が作ってくれたむーちーをおやつ時に食べた子どもたち。「おいしい」と完食する子もいれば、「もう食べない」と慣れない味に苦戦する子もいました。またカーサー葉をめくるときのむちゃむちゃを嫌がる子どもも多くいました（笑）。いつもと違ったむーちー作りになりましたが、みんなで健康祈願をしつつ、沖縄の伝統文化に触れる事も出来た良い行事になったと思いました。



風のわ保育園

所在地：〒905-0217 沖縄県国頭郡本部町浦崎740 電話番号 0980-48-3170 F A X 0980-48-2400
 代表者：園長・宮里健子 園児数：定員60名（現員71名）
 業務内容：通常保育、延長保育 保育時間：通常保育7:30～18:30 延長保育18:30～19:30



「シークワサー狩り体験」

いつもお世話になっている農業委員会長の高良さんの畑におじゃまして、シークワサー狩りをしました。

沢山実がなっているのを見て、「いっぱい食べよう」と食べ勝負をしたり、袋がいっぱいになったのを「ママにあげる～」と嬉しそうに見せて持ち帰るのを楽しみにしていました。



甘くて美味しいシークワサーをジュースにして飲んだり、もずくあえに自分で絞ってかけて食べたり、良い体験をすることが出来ました。まさに五感（見る・聞く・かぐ・味わう・触れる）を感じ食育体験になりました。

「畑の植え付け」

農業委員会の皆さんに教えてもらいながら、じゃがいも、大根の植え付けをしました。じゃがいもはカットされた種芋を畝に置き、土のお布団を優しく被せました。大根は小さな種を手のひらに乗せ、パラパラと畑にまきました。最後に水やりをし、「大きな一れ」と早く芽が出るのを待ち遠しそうにしていました。



どリーむはうす

所在地：〒905-0212 沖縄県国頭郡本部町大浜850-5 電話番号 0980-47-2800 F A X 0980-47-2819
 代表者：施設長・仲地正子 利用者数：定員29名（現員25名）
 利用時間：通い・9:00～17:00 訪問・9:00～18:00 宿泊・18:00～9:00



どリーむはうすでは、外部から講師を呼んで、わらべ唄や、アロママッサージをしています。

わらべ唄は、やり始めて約5年になります。わらべ唄講師の大城八重子先生が来てくれます。初めは、それぞれの地域で歌が違ったり、忘れていたり、一緒に歌う事の出来なかった利用者さんも、続けていく事で昔遊んだ情景が蘇えり、楽しめるようになりました。今では、私たちの地

域ではこう歌っていたよ～と教えてくれたり、手遊びやお手玉、風船、布を使った遊びを、子供の頃に戻ったかのように夢中で遊び、笑顔が増えています。八重子先生は「わらべ唄の良さを、多くの人に伝えられるのが嬉しい」と言っています。

アロママッサージは、アロマタッチセラピストの^{すや}酔谷さんが来てくれます。利用者さんに好きな香りのオイル選んでもらい、ハンドマッサージやフットケア等、利用者さんの症状を聞いて、症状に合わせたケアを行います。「マッサージをしてもらった日は、夜ぐっすり眠れる。」「学生の頃みたい。」と利用者さんがとても喜ばれ、中には酔谷さんを覚えていて、顔を見ると手を差し出す利用者さんもいます。血行障害のある利用者さんは、ケアをするととても血色が良くなりました。酔谷さんは「感謝されとても嬉しいし、施設で行うのは勉強になる」と言っています。



職員リレーコラム



平良邦子
(風のわ保育園)

去った11月に、第63回沖縄県社会福祉大会(勤続25年以上)において、永年勤続賞で(ドリーム、美ら咲保育園の二人の保育士さんと共に)理事長より表彰を受けました。保育士になった頃は、自分がこんな長い事保育に携わるとは思っていなかったと思います。周りの方々にも感謝です。私が保育士になろうと思ったきっかけは、キリ短で入った児童文化研究サークルでの活動だったと思います。子ども達の前でフィンガーアクション、ペープサートなど演じた時の、吸い寄せられるような子ども達の見つめる「眼」だった

ように思います。その時に「子ども」の世界を知りたいと思いました。周りに保育士をしている人は居なかったのので、私には未知の世界でした。保育士の仕事の大変さや責任感の重さにつぶされそうな時もありましたが、そんな時も子ども達の笑顔に救われたように思います。保育士になりウン十年。今は孫たちと同じ世代の子ども達に刺激を受けながら、若さをもらい楽しんでいます。私の中での黄金言葉は先人の方言で「くとうばじけーや、じんじけーど。」(言葉はお金を使うように気をつけて使いなさい。)です。これを忘れず丁寧な保育を心がけています。また「子ども達が主体となる保育とは。」常に考慮しながらより良い保育を目指して日々まだまだ精進してゆきたいと思います。

卒園児リレーコラム

美ら咲保育園 第4期生
川田莉空(本部高3年)

保育園の思い出は正直あまりなくて、小さい時から体を動かす事が好きでした。とにかく園庭で走り回っていることが多かったと記憶しています。

幼稚園から2年近くピアノを習っていましたが、少年野球を始めるに当たりピアノは辞め、それからはずっと少年野球一筋!本部少年野球クラブではキャプテンを務めていました。中学校に進んでも、もちろん野球部。主に内野(セカンド・サード・ショート)を守っていました。中体連最後の県大会では見事ベスト4入りを果たしました。沖縄水産高や本土の強豪校からもお誘いがありましたが、「このメンバーで地元から甲子園を目指そう!」との思いで、他の本部中野球部メンバーと共に本部高校へ進学します。

高校での練習がきついとは聞いていましたが、自分の想像よりもはるかにきつい練習の日々でした。とにかく



食トレがきつかったです。(朝練の前に朝食を摂り、朝練終了後に米800gのノルマ、昼食時は米1kgのノルマ、放課後の練習中に監督が作る捕食を摂り、帰宅後夕食を必ず摂る…)のおかげで、入学時より12~3kgの増量に成功しました。

そして高2の県秋季大会の成績(新人中央大会ベスト4・秋季大会ベスト8入り)で、沖縄県高野連から、センバツ高校野球の21世紀枠に推薦、後に九州高野連からも推薦を受けましたが、残念ながら選抜されず…。それから、より一層甲子園への想いは強くなりました。最後の夏の大会は、強豪美里工業高に敗退。高校野球が終わりました。

今後の進路は大分県の日本文理大学に決まりました。今度は、大学野球で明治神宮出場を目指します!もちろん、将来はプロ野球選手を目指します!!

園児のみんなへ今のうちにたくさんご飯を食べて、たくさん眠ったら、僕の様(186cm まだ成長中)に大きくなるよ!!

利用者家族リレーコラム

どリーむはうす
新崎元子

骨折して入院し、リハビリの継続を勧められたことをきっかけにいくつかの施設を見学した後、最終的に「どリーむはうす」さんに母は通所することになりました。決め手はこちらの細かい要望に柔軟に対応して頂ける小規模多機能施設であったことはもちろんですが、「ひめゆり学徒隊」の戦友の方が利用されていたこと、さらにケアマネの喜納さんが母の「ダチアネ(子守)」だった方のお



孫さんという「縁」に安心感を得て、両親は通所を納得できたようです。母は神経質な性格のため、泊まりの日に寝付けず、不穏になることがしばしばありますが、その度に丁寧に話を聴いて下さるなど、スタッフの方々の忍耐強い対応のお陰で本人も喜んで通うことができています。また、浦添から通いで介護に奮闘する妻の相談にも親身に乘って下さり、感謝に堪えません。スタッフの方々のご支援と妻の献身を受けながら親孝行できる幸せを有り難く思い、目標である「夫婦そろってカジマヤー」をこれから家族皆で目指していきたいと思っています。

わったーシマを知ろう！

近年話題の「ふるさと納税」！本部町の返礼品も要チェック！

ふるさと納税とは、自分で選んだ自治体に寄付ができる仕組みのこと。
ふるさと納税の寄付金は税金の還付・控除が受けられる上に、お礼品として自治体から特産品や宿泊券等がもらえるうれしい制度になっています。



本部町産クロマグロ



琉球グラス



本部町産海ブドウ



本部町産あぐ〜しゃぶしゃぶ



本部町産マンゴー



パッションフルーツ



タンカンみかん



アセローラフレッシュドリンク



他にも本部町も魅力あふれるお礼の品が盛りだくさん！

町民や本部町出身者のみならず本部町を応援する方々必見！

「町民・寄付者・行政のコラボレーション」で新しいまちづくりに参加しませんか？

連載小説「あじあと」 第7回

「今は、今はどう、見えるんですか」

「いるわよ。でも、話は聞かないのよ。何か言いたそうにしてるけど、でも、とてもあなたのことを想っているわよ」

香はこらえきれずに山根セキの肩に顔を当てて囁いた。山根セキは百二歳の細い指で香のほほを伝う涙をふいた。

その後も、香は山根セキの入浴介助に入る度に、霊界から降りて来た人や、少女の姿に身を変えたという神様のことを聞かされた。

職員の間では、山根セキは霊を見ることのできる元ユタで、今は重い認知症を患ったおばあさん、という共通理解であった。

一度も会ったこともない父の外見を言い当てるセキを、香は認知症とは思えなかった。記憶が所々とんでいたり、実の子供の名前さえも思い出せない病状ではあっても、彼女に霊が見えることを香は疑うことはできなかった。

「ねえ香ちゃん、いつも笑ってないさいね。今みたいに。そして、誰も憎まずに、徳を積みば必ずお父さんに会えるわよ」

「それからね」セキは続けた。

「この世の中は悪魔に惑わされた人たちがいっぱいなの。この人たちは皆、お金持ってるのね。お金で人操るの。香ちゃんも気をつけなさい。あなたがお金なくて一番困ってる時にあなたをねらってる者がいるよ」

セキは一度視線を床に落としてから周りを見直し、再び香の目を見て言った。

「香ちゃん、あなたのお父さんはお金で苦労したね。それであなたもずっとお金で苦労したね。でもあなたの苦労はムダじゃないのよ。耐え抜いた人には倍のごほうびが準備されているの。だから、最後まで辛抱しなさいね」

他の入所者を見渡し、一人の老人を見つめたままセキは言った。

「向こうにいるおじいちゃん、昔は偉い人だったよ。でも、毎日酒飲んで、頭に毒入れたから、今ボケてるよ。脳ミソに毒入れたら必ずあなるのね」

「あそこにいるおばあちゃんも、いい所の奥さんだったのよ。この人も毎日だんなさんに頭に毒入れられたの。だからボケてるの」

セキは香の目を見て嬉しそうに笑いながら続けた。

「香ちゃんはきれいな笑い方するね。あなたにお金いらないね。お金は必要だけあるね。あとほだ笑っていいばい」

最後にセキはそう言い残して、老衰のため天へ召された。

「いつも笑って、誰も憎まず徳を積む」これは香にとってその後の人生の座右の銘となった。最愛の父と再びみえるために。

新型インフルエンザも衰え、元氣を取り戻した香は、スーパーのレジをやめ、時給が少し高い博物館が向いに見えるコンビニで週三回夜の八時から十一時まで働くことにした。

いくつもあるコンビニの中から、ここに決めたのは、店が他より広くハイグレードだったことと、あの台風の夜、落とした財布をひろってとどけてくれた人にまた会えるかも知れないと思ったからだ。

コンビニ勤務三日目、十時を少し過ぎたところで香はレジに立っていた。

その時刻、真一は、今回を限りにコンビニ通いは止めるつもりで、博物館が向いに見えるコンビニにレクサスを走らせていた。

車がコンビニの駐車場に入った時、携帯が鳴った。また残業をしている部下の渡津嘉からだ。開発したソフトに不具合が生じ、何らかの手を打たないと莫大な損害を被るという内容だった。

香がレジに立つコンビニから、真一のレクサスは会社へと向きを変えた。

会社に着くと渡津嘉から詳細を聞き、対策を話し合った。翌日の朝一番で、東京に飛び、受注した企業へ赴きまずは謝罪し、数時間かけて復旧作業をする、という手筈になった。

幸い、不具合の発見が早かったため、企業の被害は軽微で済んだが、真一は損害賠償として、ソフトの販売価格を全額返済することを申し出た。先方も真一の誠実な態度に打たれ、全額返済ではなく、五十パーセント返金ということで示談した。

早朝から緊張の連続でくたくたに疲れた真一はホテルに戻るとシャワーも浴びずにベッドに入った。

祝!! 特別永年勤続功労者表彰

第63沖縄県社会福祉大会におきまして、特別永年勤続功労者として本法人3施設の職員3人が「大会長表彰」を受賞されました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、今年度の沖縄県社会福祉大会は開催出来ませんでしたが、先日法人宛てに表彰状が届きましたので、ささやかながら表彰式が行われました。御三方にはそれぞれ、表彰状と記念品、そして法人より金一封の贈呈がありました。

【理事長より】御三方におかれましては、25年以上の永年に渡り、保育士として児童福祉の発展・向上にご尽力されました。他の保育者の模範であり、また私たち真正福祉会職員一同、先生方の受賞を共に祝い、喜びを分かち合いたいと思います。本日の受賞誠におめでとうございます。

【表彰者:特別永年勤続功労者(勤続25年以上)】

ドリーム保育園:副島 初子先生(主任保育士)

美ら咲保育園:玉城 和代先生(保育士)

風のわ保育園:平良 邦子先生(保育士)

ドリーム保育園:副島 初子先生

私がまさかこんな賞をもらえるなんて、夢にも思いませんでした。振り返ってみますと、産休代替職員として入職し、正雄会長から賢理事長へと変わる中、私自身いっぱい助けられました。生活が苦しい中でも手を差し伸べて下さったのは、ドリーム保育園の代々の園長先生のお陰で25年間も働けたんだな、とすごく思っています。苦しい時にも助けて頂いたので、これからは自分が少しずつ、力になれば良いなと思います。日々の保育にこれからも頑張っていきます。

美ら咲保育園:玉城 和代先生

短大卒業後、那覇市内の保育園で働いた後「自分に向いてないのでは」と、少しブランクがありました。しかしまた『やりたい』との思いが芽生え、沖縄市内の保育園に15年勤め、平成20年より現在の美ら咲保育園にお世話になり、これまで児童福祉の仕事に携わってきました。家族や園長先生、法人の皆様、自分の周りにいる人たちのお陰でこれまで仕事できていると、振り返ってみて思います。

50歳になったら『天命を知る』と言われていますが、自身この仕事しか出来ない、天職なんだなと思っています。これからも一生懸命子ども達の為に力を尽くし、頑張っていこうと思います。

風のわ保育園:平良 邦子先生

自分自身とても不器用ゆえに至らない事だらけですが、それと闘いながら日々頑張っていきたいと思っています。

私的にも色々ありましたが、風のわ保育園の子ども達に癒されて、帰宅した後に『これが幸せなんだ』毎日子ども達と接する事が生きがいになっているのだと最近つくづく思います。



左から 平良邦子先生、副島初子先生、玉城和代先生

【編集後記】

真正福祉会には3つの委員会があります。広報誌を年に2回発行する広報委員会。講師を呼んで法人全体で行う研修や、各施設の実践研究発表会を企画する研修委員会。法人全体で行う忘年会などを企画する活動委員会です。昨年はコロナの影響で法人全体の研修や忘年会は全て中止になり、唯一、広報委員会だけが活動できた年でした。

法人全体で一同の場に集まらなくても、広報誌の紙面を通して、理事長の思いや各施設の様子を、

共通理解できたように思います。改めて大事な役割だと思いました。

次号の広報誌は6月頃を予定しています。

